

かけがえのないあなただから

危機管理 いのちを守る 信頼を守る

今だからこそ、今のうちに、今できることを。

来年度以降も見据えて、学校のマニュアルや私たちの危機意識をこの時期にアップデートしておきましょう。 確認したら を に

1 学校として

- 大きな災害が発生した時の安否確認は、どのような方法で行うことになっていますか。（職員の安否、児童・生徒の安否それぞれ）
- 学校の危機管理に係るマニュアルにはどんなものがありますか。また、先生方がすぐに手にとって確認できる状態になっていますか。
- マニュアルは未然防止・適切な対応のための「大事な拠りどころ」として今の社会や学校の現状に寄り添ったものになっていますか。毎年見直しを図っていますか。

2 それぞれの立場、個人で

- 緊急時の連絡先（校長先生や教頭先生の連絡先等）は常に分かるようにしていますか。休日等、学校外からでも連絡できますか。
- 自分の身の回りで困った時に相談できる人は誰ですか。（職場での相談者。自分の生活する地域において頼りになる人。）

危機対応の反省としてよく挙げられることの一例として

- ・なぜ対応が遅れたのか。（例えば救急搬送やAED使用の必要性は？）・マニュアルは実効性のあるものだったのか。
 - ・関係機関（市町教育委員会や相談機関等）への報告や情報共有は迅速かつ適切にされていたのか。
 - ・保護者への連絡はなぜ遅れたのか。 ・事故対応の記録は誰が行っていたのか。
- ……事故が起これば誰でも慌ててしまうもの。だからこそ今のうちに。

「10分でできる不祥事予防研修」
校内倫理委員会や職員会議のはじめ等にご活用ください。

「ぴよん吉先生の ためになるつぶやきノート（1月）」

今年は辰年。
実は私、年男なんです。
うさぎですが…



元日の地震には驚いた。ニュースで現地の被害が報道されているが、子供たちはどのように感じているだろうか。東日本大震災から間もなく12年。今の子供たちにとってここまで大きな地震を体感したのは初めてかもしれない。あの時のように、もし山形でも停電が起こっていたら、断水になったら、避難指示が出たら…。子供や家族を守るためにもう一度考えよう。

ここから学校は年度末に向けて一気に駆け抜ける。学習もまともに入り、成績確認の時期にもなる。職員室の机上やPCの画面等、これまで以上に情報管理に気を付けるよう、みんなに声掛けしておこう。

雪が少なく穏やかな新しい年の始まり。さあ今年の目標は？ある調査によれば、新年の抱負を達成できている人は約20%で、抱負を覚えてすらいない人は約40%と言われている。目標を達成させるにはコツがあるらしい。調べてみると面白いかも。私の新年の抱負は…。

※「ぴよん吉先生」は近くの学校に勤務する架空のうさぎの先生です。（学年主任で同僚思い。初詣でおみくじ引いたら「小吉」でした。）

